

日本を代表する映画撮影監督 27 人が選ぶ外国映画ベストテンと彼らの映画人生

「映画撮影監督が選ぶ オールタイム外国映画ベストテン」

発売:9 月 28 日(取次搬入 9 月 27 日予定)

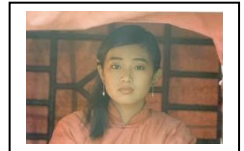
“監督はストーリーの演出家なら、撮影監督は光の演出家だ。”—「ビジョンズ・オブ・ライト—光の魔術師たち」(92)

映画監督に寄り添い、監督の意図を組み、撮影スタッフのチームワークを担い、スクリーンという名のキャンバスに光と陰で“画”を描く、それが撮影監督という職業である。

彼らはどのように映画と向き合ってきたのか、どうして、そしてどのように撮影監督になったのか、30 代から 80 代まで、第一線で活躍する 27 名の撮影監督の原稿を掲載。これまであまり語られることのなかった彼らの映画人生、そして“画”づくりに込めた思いを知ることで、映画鑑賞の楽しみが倍増する。

また映画評論家や映画監督とは一味違う、撮影監督の視点から選んだ外国映画 10 本は必見！往年の名作から、その映像に唸る隠れた名作まで幅広いラインナップになっており、これまでになかった映画鑑賞ガイドとしても楽しめる。

映画ファンはもちろんのこと、これから撮影カメラマンを目指す若い世代にもお勧め！



●内容紹介(変更になる場合がございます)

◎私の映画人生、なぜ撮影監督になったのか、好きな外国映画 10 本 (掲載予定撮影監督:全 27 名)

上田正治「乱」(85)、原一民「ゴジラ」(84)、前田米造「マルサの女」(87)、仙元誠三「セーラー服と機関銃」(81)、中野稔「ウルトラマン」(89)、阪本善尚「転校生」(82)、中堀正夫「帝都物語」(88)、山崎裕「誰も知らない」(2004)、川上皓一「サード」(78)、高間賢治「ナビィの恋」(99)、柳島克己「ソナチネ」(93)、芦澤明子「トウキョウソナタ」(2008)、藤澤順一「八日目の蟬」(2011)、浜田毅「いつかキラキラする日」(92)、山本英夫「ステキな金縛り」(2010)、渡部真「の・ようなもの」(81)、佐光朗「海猿」(2004)、石坂拓郎「るろうに剣心」(2012) 他

◎特別座談会 仙元誠三×柳島克己×佐光朗 助手時代の思い出と映画づくり

仙元氏と、彼の助手から巣立ちいまや日本を代表するカメラマンになった 2 人の当時の思い出や伝統的な映画作りの現場を語って頂く貴重な座談会

◎特別対談 大林宣彦監督×阪本善尚 映画監督と撮影監督の視点

◎彼らに影響を与えた撮影監督とは 27 名がこれまでに影響を受けた撮影監督を代表作品と共に紹介

「映画撮影監督が選ぶ オールタイム外国映画ベストテン」 AC Books 編

A5 版並製 176 ページ(予定) 予価 1470 円(税込)

ISBN 978-4-904249-37-6 C0074

注文書	貴店名【帳合】	注文数	AC Books	Fax 03-3434-7079
		冊	映画撮影監督が選ぶ オールタイム外国映画ベストテン	定価 1470 円 (税込)
			ISBN 978-4-904249-37-6	